

教育警察常任委員会活動評価総括表（平成28年度）

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- ・交通安全施設等の更新については、今年度も委員長報告を行い、予算増額など一定の前進が見られたが、今後はそれがどのような形で県民の安全につながっていったのかを当委員会でも調査していく必要もあるのではないかと考える。今後の課題としては、センターラインの摩耗への対応や交通事故多発地帯への対応などが考えられる。
- ・防災対策・防災教育については、重点調査項目の一つであったが、十分に調査を行うことができなかったところもあり、次年度以降も取り組んでもらえればと考える。
- ・次期の県立高等学校活性化計画については、県内外調査も含めて十分に調査し、委員長報告も行うなどしっかりと活動し、委員会での意見も反映することもできた。
- ・学力・体力の向上についても、県内調査などを通じてしっかりと具体的な調査をすることができた。

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） ・防災教育の部分がやや弱かった。 ・防災対策・防災教育については不十分であったかもしれない。 ・防災対策・防災教育についての県内外調査を今後実施していくべき。	3.6
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） ・警察が行使する「権力」へのチェックが不十分。	4.1
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） ・県内外調査・高校生県議会などの内容について討議を活用できた。	3.9
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 （その他、評価の理由等（自由記載）） ・次期県立高校活性化計画の策定の議論に特に役立てることができた。 ・県立水産高校（実習船）は特色のある県立高校としてしっかりと認識を深められた。 ・高校活性化、学力と体力の向上などしっかりと調査できた。	4.0

項目	評価の視点	平均点
(5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <p>〔 ・高校生県議会については、予算議論にも役立てることができた。 〕</p>	3.6
(6) 調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <p>〔 ・「交通安全施設の整備」「次期県立高等学校活性化計画(仮称)」については特に委員長報告をとりまとめ、来年度予算や次期計画へ大いに反映して頂いた。 ・運転免許センターへの看護師配置について、検討しているとの答弁。(長崎県警での調査) ・交通安全施設の整備や更新について ・特殊詐欺対策(自動通話録音警告機) ・重点項目についてほぼ実施。 ・交通安全対策等協議内容およびそれを受けての委員長報告が来年度予算に反映された。 〕</p>	/

評価は5点満点です。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかった)
各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。